

試験の流れ

～ 操作イメージをつかもう ～

『弥生検定』は、すべてコンピュータ試験(CBT)で行われます。さらに、弥生製品を操作して回答を入力する問題もありますので、試験プログラムと弥生製品を切り替えながら操作する必要があります。当日余裕を持って受験できるように、この資料をもとに、試験画面の操作イメージを事前につかんでおかれることをお勧めします。

<前準備>

P 2

試験会場へ入室して指定された席に着席後、試験を開始するまでに行っていただく操作の流れをご紹介します。

<試験開始～終了までの流れ>

P 4

前準備終了後、[受験する]ボタンをクリックしてから試験終了までの一連の流れをご紹介します。コンピュータ試験(CBT)のイメージをご確認ください。

重要

<試験プログラムの操作方法>

P 8

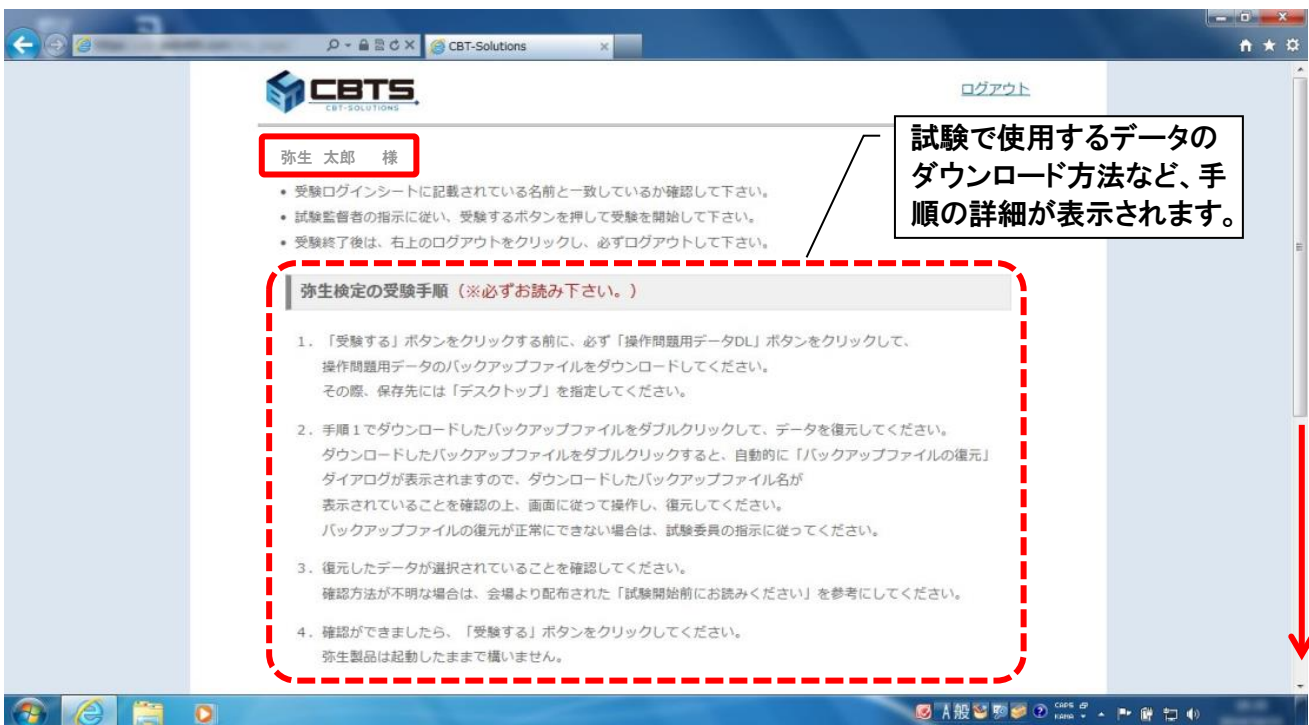
試験プログラムの画面構成や、試験プログラムと弥生製品を切り替えながら操作するイメージをご紹介します。効率よく切り替え操作を行っていただくためのアドバイスも記載していますので、是非ご確認ください。

<前準備>

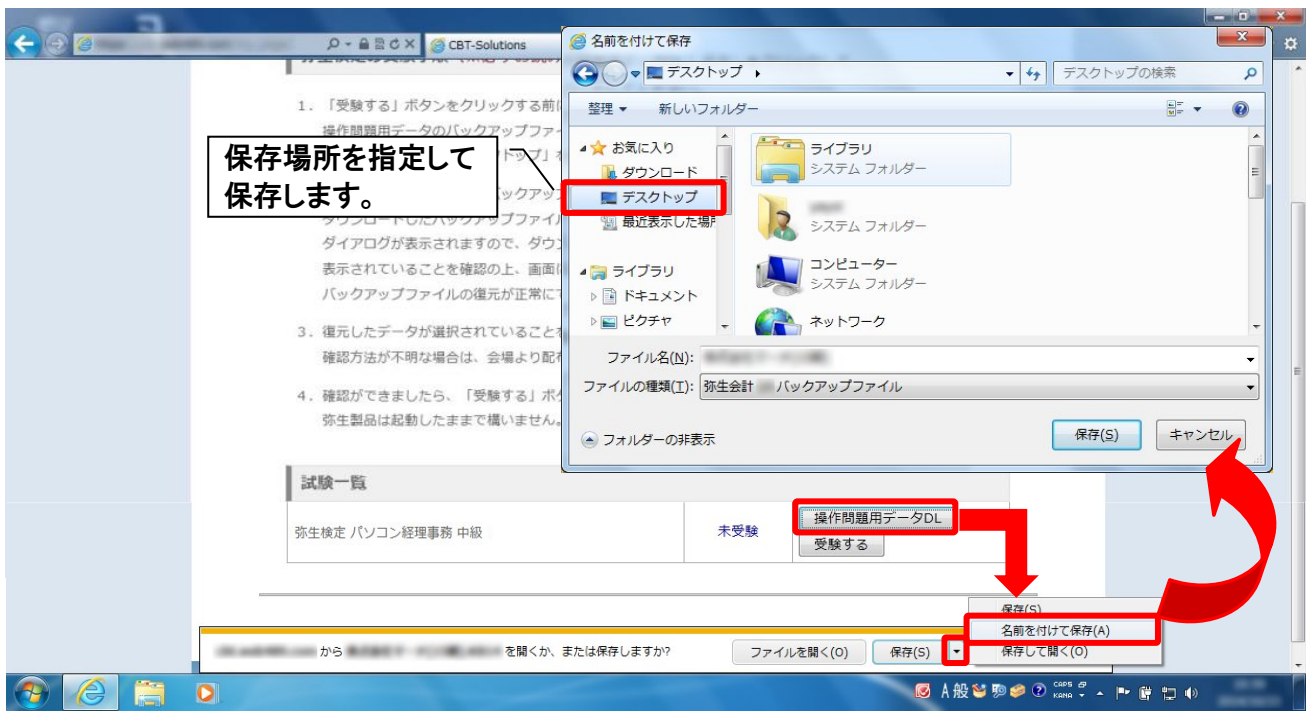
- ① 「ID」と「PASSWORD」を入力して[ログイン]ボタンをクリックします。
※ 「ID」と「PASSWORD」は受験当日、会場の受付にてお渡します。



- ② ご自分の氏名と受験する試験名が正しいことを確認し、「弥生検定の受験手順」を読みます。



③ 「弥生検定の受験手順」の説明に従って、弥生会計のバックアップファイルをダウンロードします。



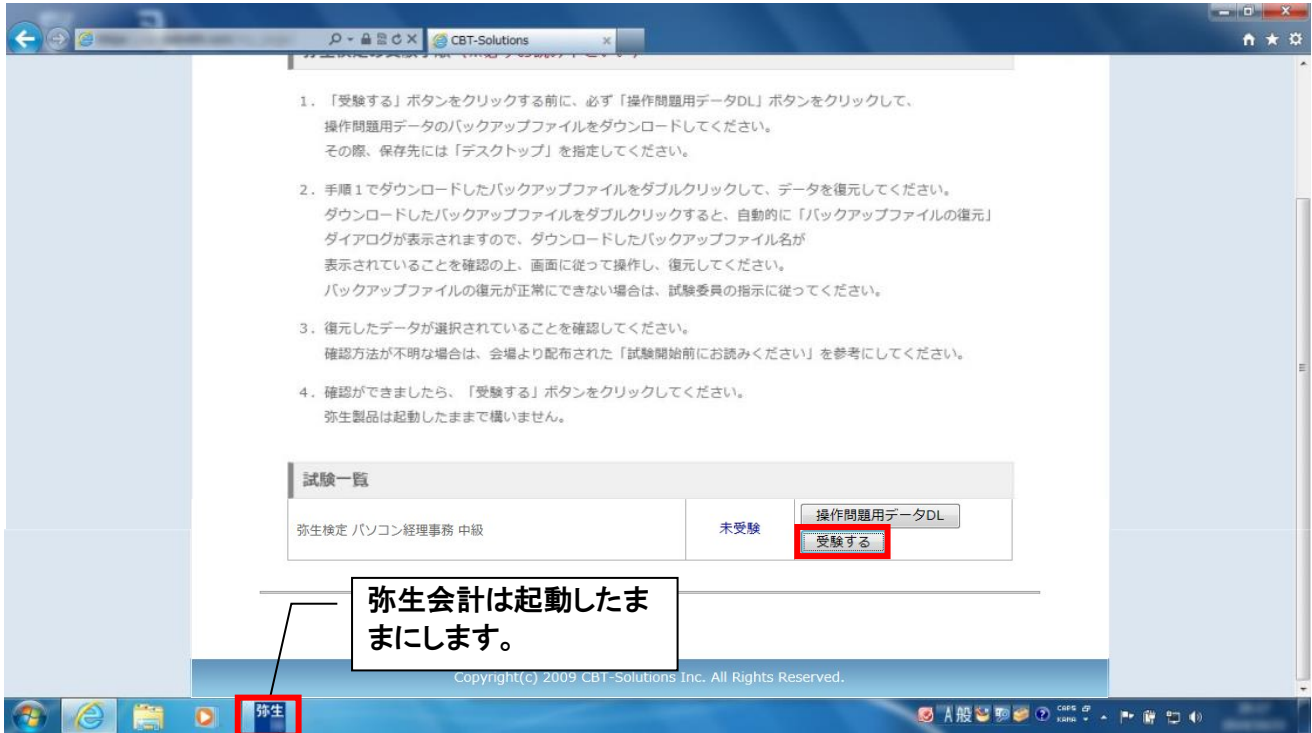
④ ダウンロードしたバックアップファイルを復元したら準備完了です。試験選択画面を再度呼び出し、試験を開始します。



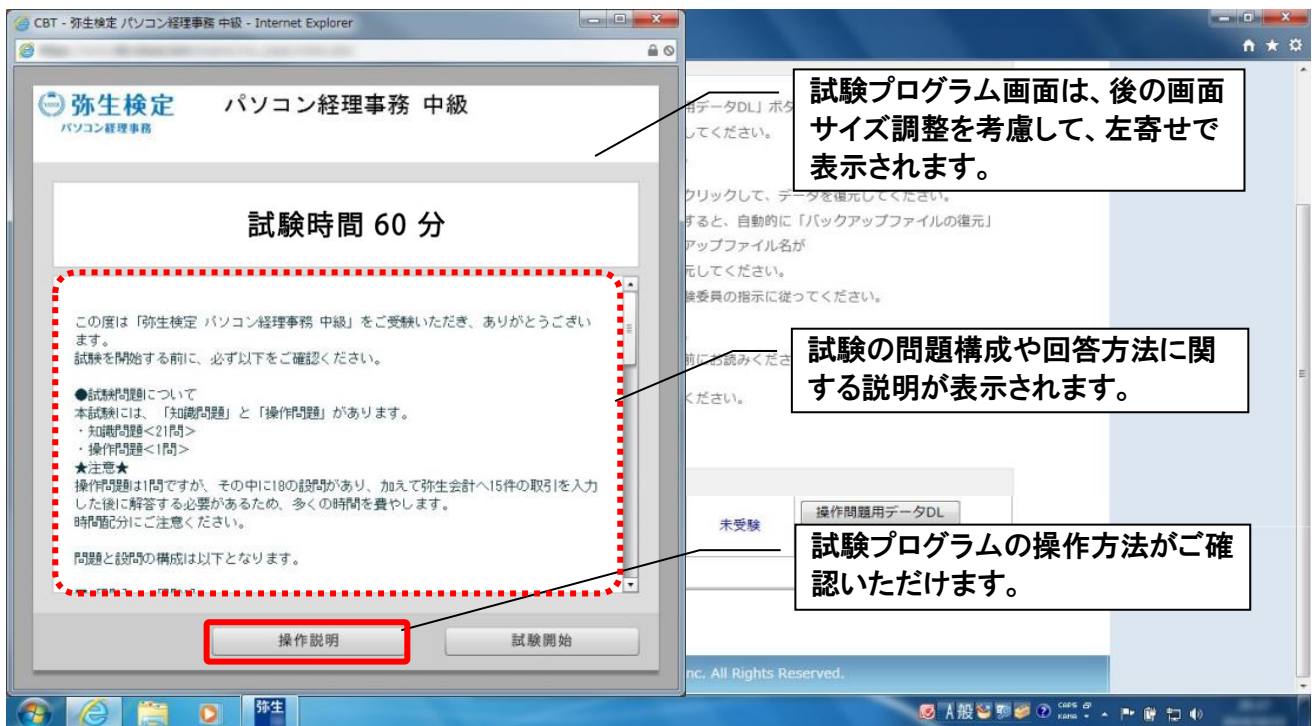
※データのダウンロード方法や、バックアップファイルの復元手順は、ログイン後に表示される「弥生検定の受験手順」(本資料②参照)に記載されています。

<試験開始>

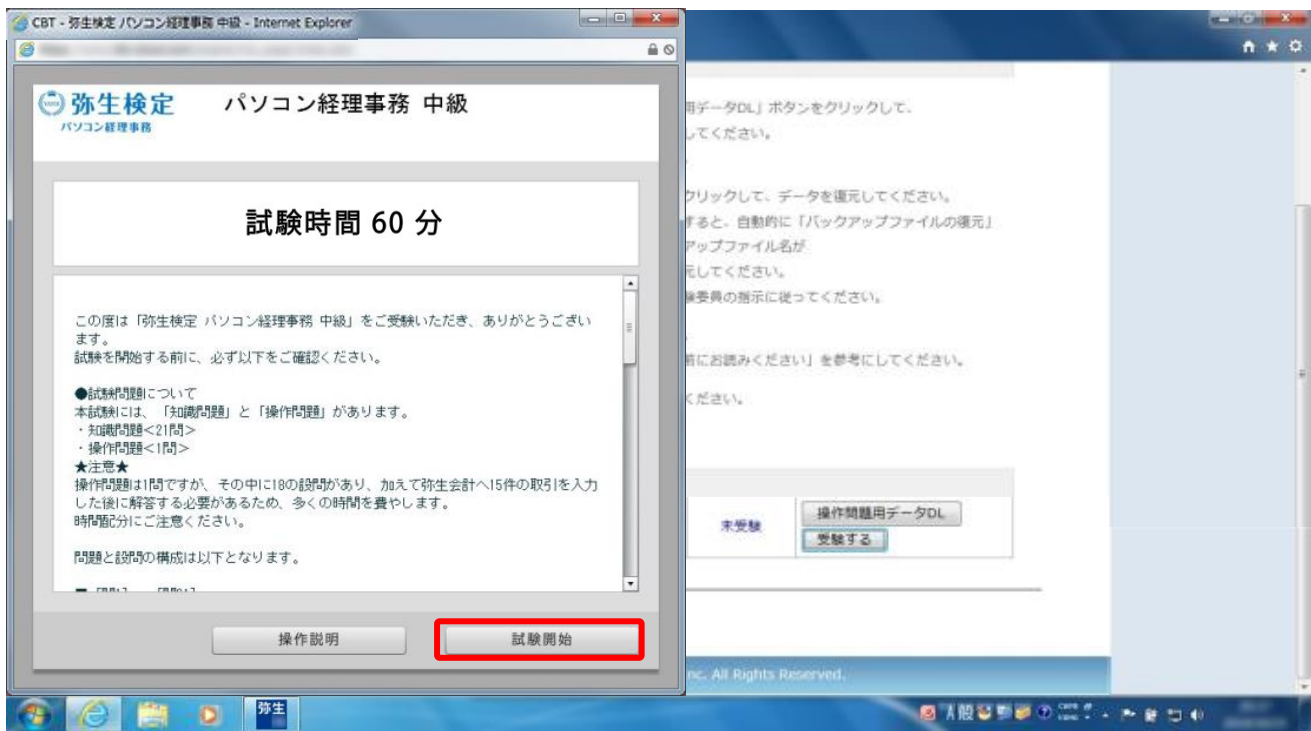
- ⑤ 試験選択画面が最前面に表示されたら、「受験する」ボタンをクリックします。



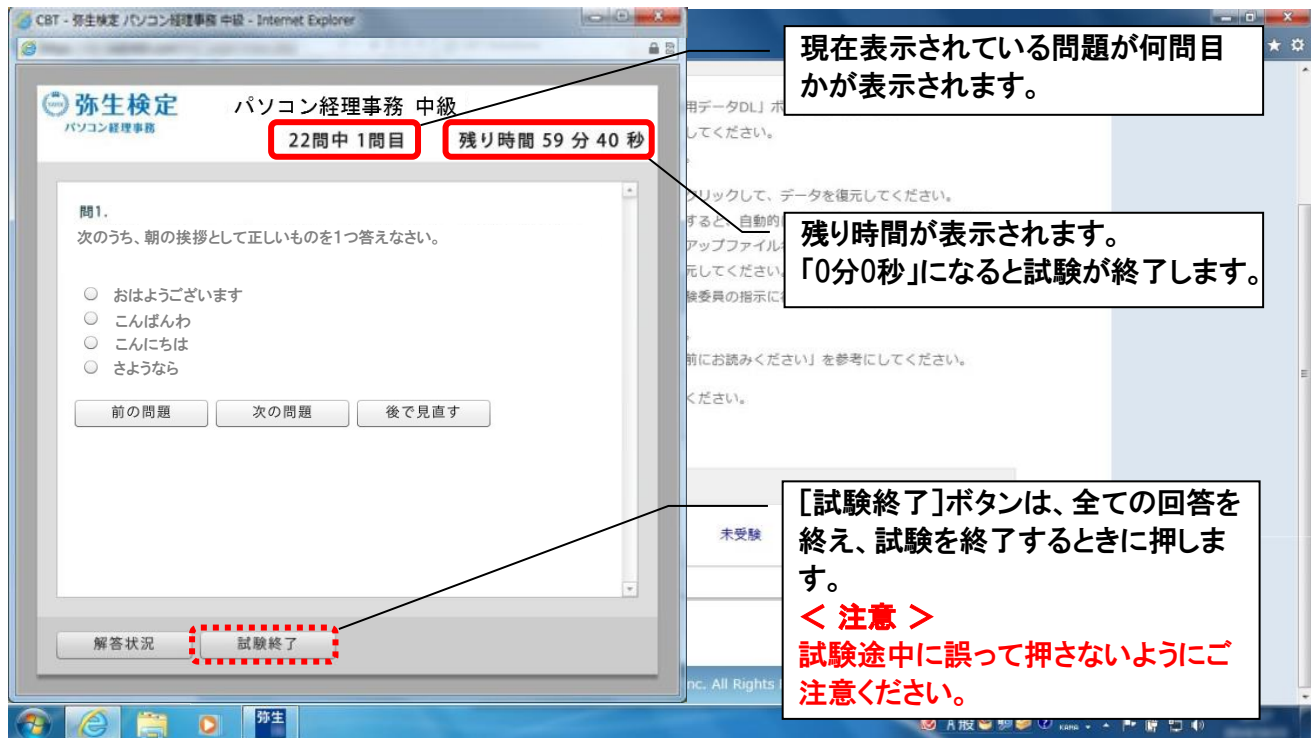
- ⑥ 試験プログラムが起動します。すぐに試験は開始されません。まずは、試験の問題構成や回答方法に関する説明が表示されます。
※ 試験当日は、受験に当たっての注意事項を記載した資料をお渡ししますので、この画面の説明とあわせてよく読み、内容を把握してください。



- ⑦ [試験開始]ボタンをクリックして試験を開始します。
 ※ [試験開始]ボタンをクリックすると、試験時間のカウントが始まります。

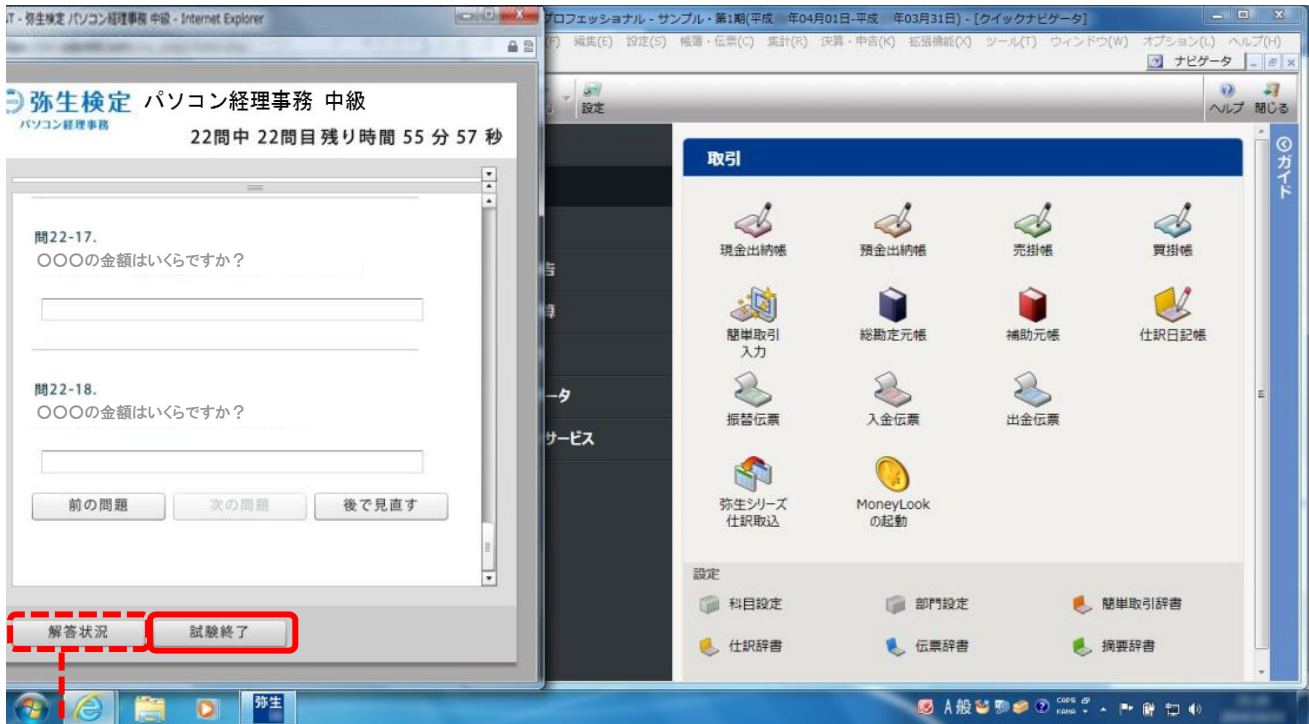


- ⑧ 試験問題が表示されますので、画面の指示に従って回答していきます。



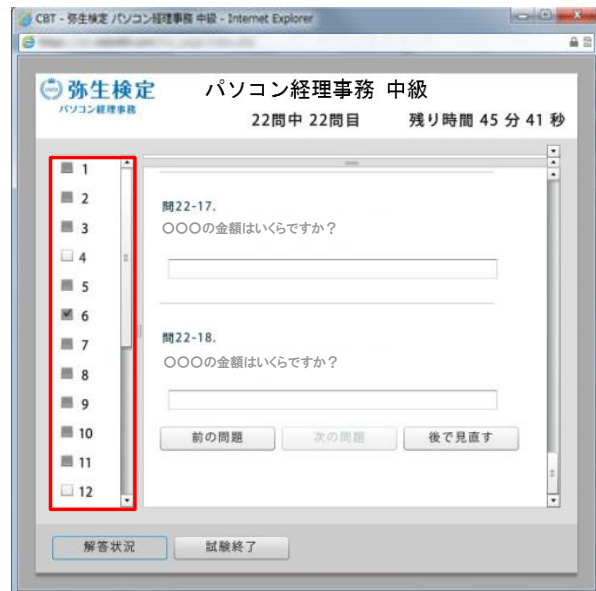
試験プログラムの画面構成や、操作問題の回答方法、試験プログラムと弥生製品の切り替え操作などの詳細は、P8以降の<試験プログラムの操作方法>にてご確認ください。

- ⑨ すべて回答したら[試験終了]ボタンをクリックします。
 ※ [試験終了]を押さなかった場合でも、残り時間が「0分0秒」となった場合は自動的に終了します。

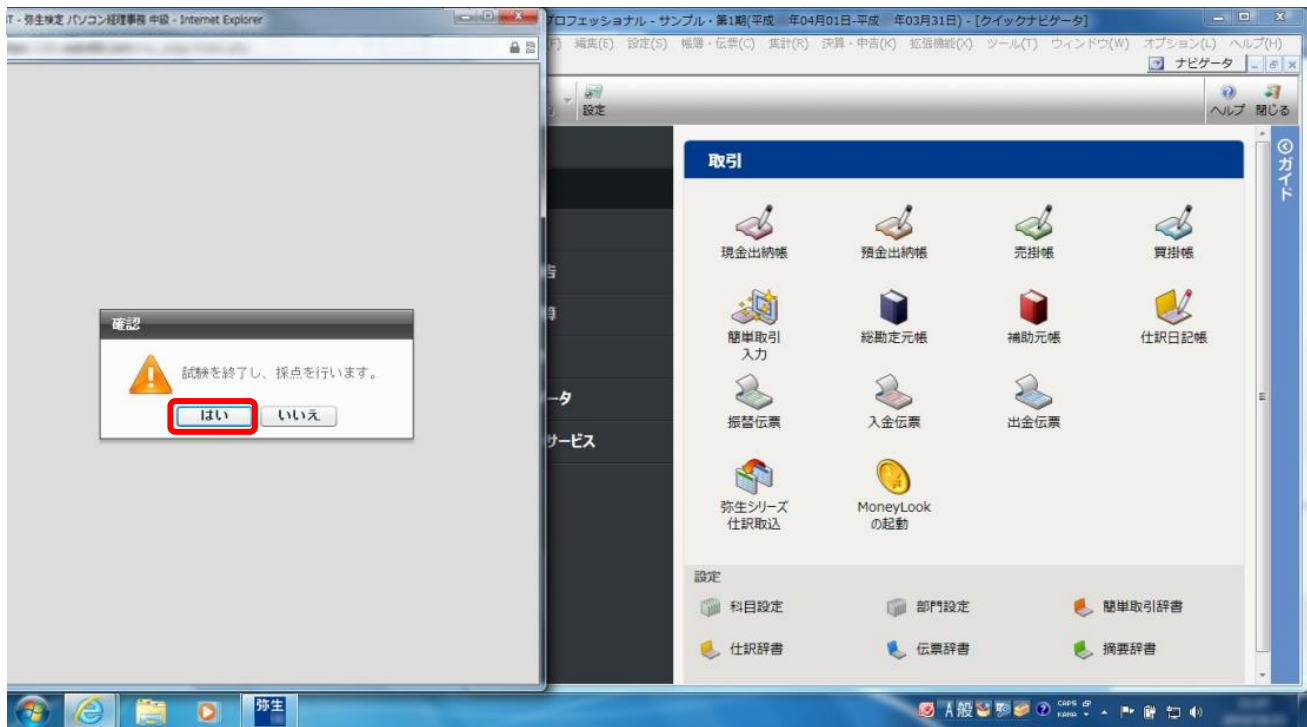


[解答状況]をクリックすると、画面左側に解答状況の一覧が表示されます。問題番号をクリックするとその問題に素早く戻ることができますので、終了前の確認にご利用いただけます。

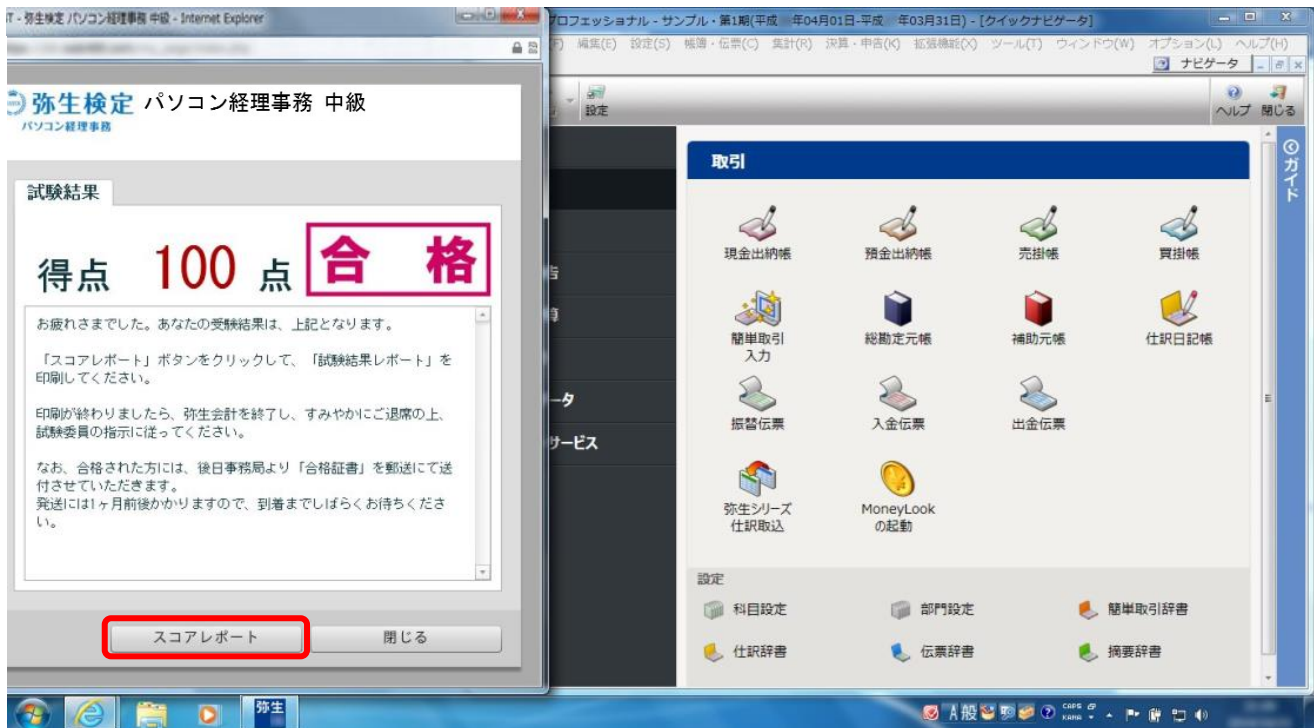
- ... 解答済み
- ... 未回答
- ... [後で見直す]を選択した問題 (チェックマークがついています)



- ⑩ 終了確認画面が表示されますので[はい]ボタンをクリックします。
※ 過って[試験終了]を押してしまった場合は、ここで[いいえ]ボタンをクリックすると、試験画面に戻ることができます。



- ⑪ 試験結果が表示されます。
[スコアレポート]をクリックして、結果レポートを印刷します。

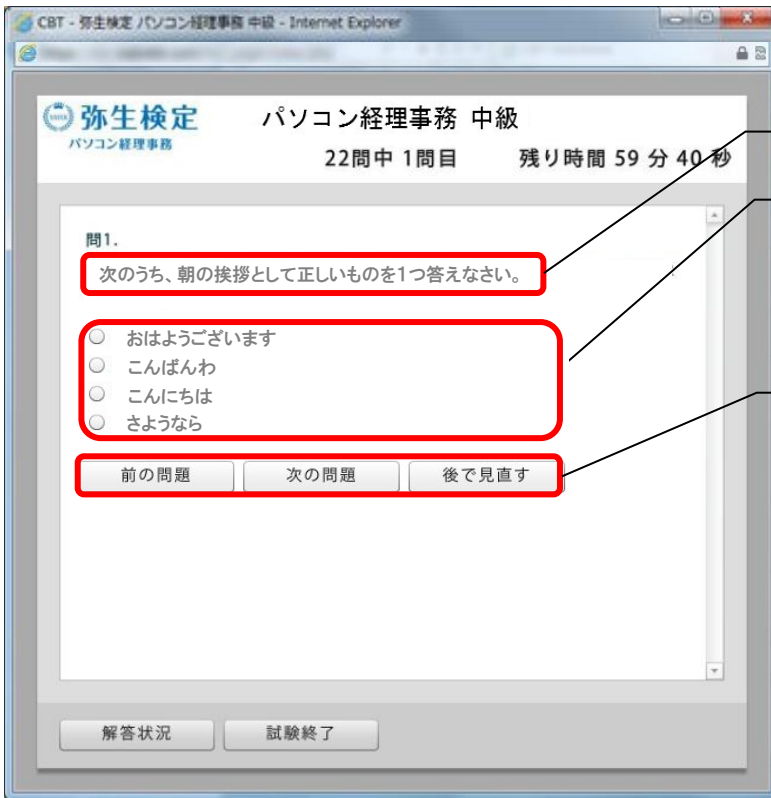


- ⑫ 以上で試験は終了です。印刷したスコアレポートをお持ち帰りいただけます。
また、合格者へは、後日合格証書が郵送されます。

<試験プログラムの操作方法>

～試験プログラムの画面構成～

●基本画面(知識問題の画面)

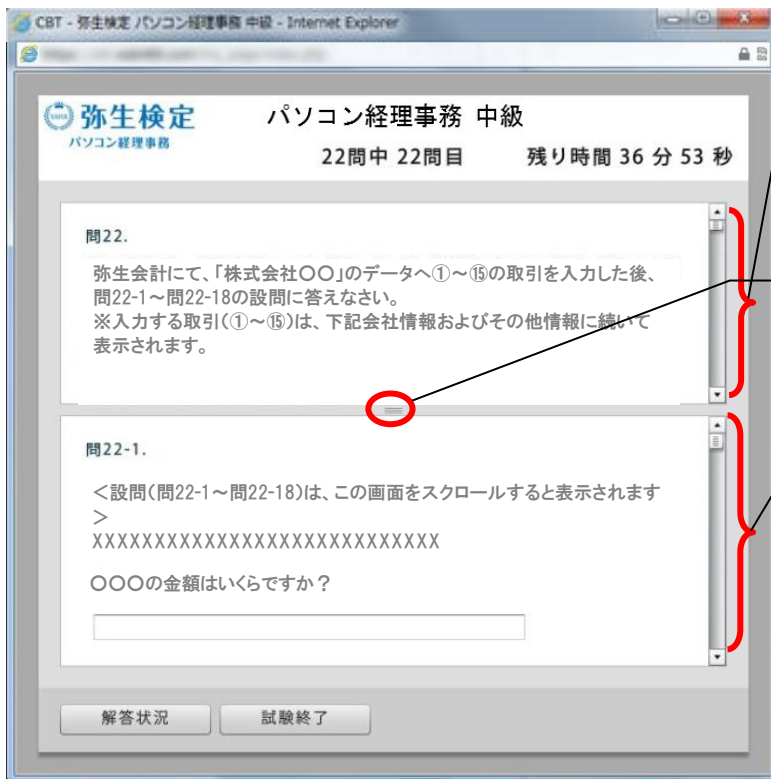


問題文が表示されます。

選択肢が表示されますので、正解と思う選択肢をクリックして回答します。
複数選択が必要な問題もあります。

操作ボタンです。このボタンをクリックして回答を進めて行きます。
・[前の問題]
1つ前の問題に戻ります。
・[次の問題]
次の問題に進みます。
・[後で見直す]
後で見直す際の目印をつけることができます。

●上下に分割されている画面(知識問題の一部と操作問題の画面)



問題表示欄
画面上段に問題が表示されます。操作問題では、弥生会計に入力する取引内容や証憑もここに表示されますので、画面をスクロールして表示します。

分割バー
上下の画面サイズは分割バーを上下に移動することで変更が可能です。

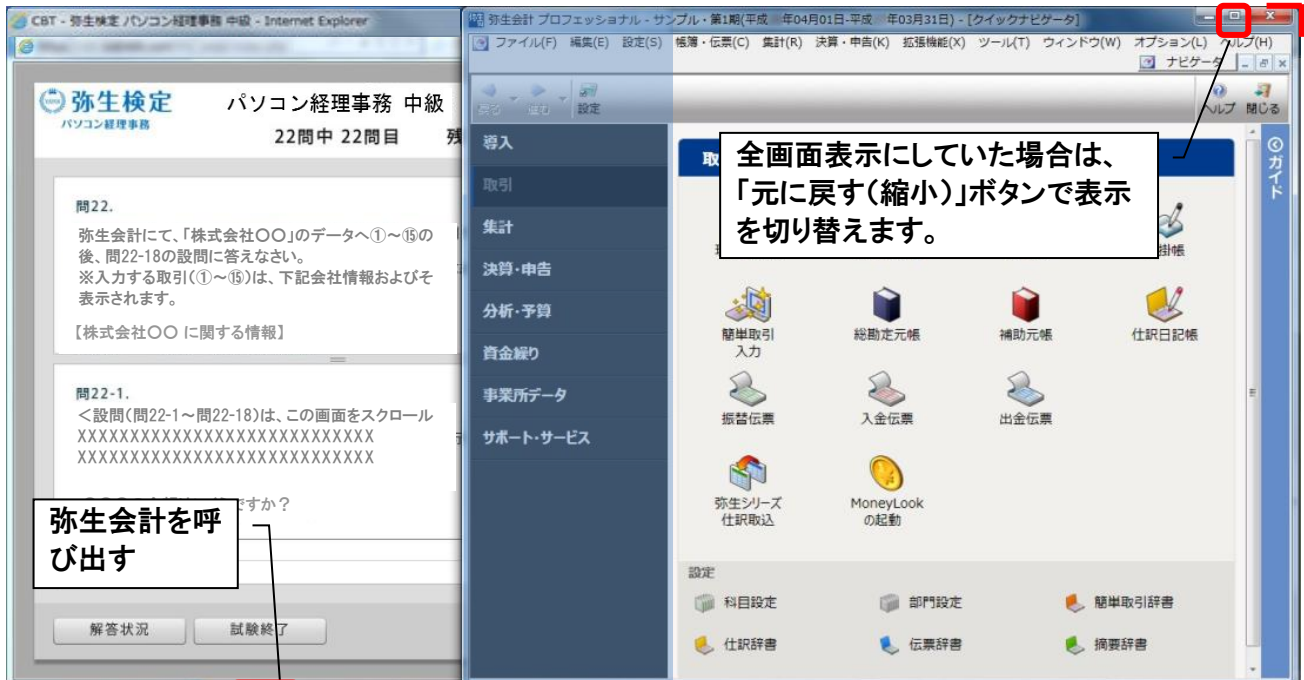
回答入力欄
画面下段に回答の入力欄が表示されます。操作問題では、指示された金額を弥生会計から読み取り、
 枠内に回答を入力します。
設問は続いて表示されますので、画面をスクロールして入力します。操作ボタンはこの画面の最下部にあります。

■ 操作問題の流れ ■

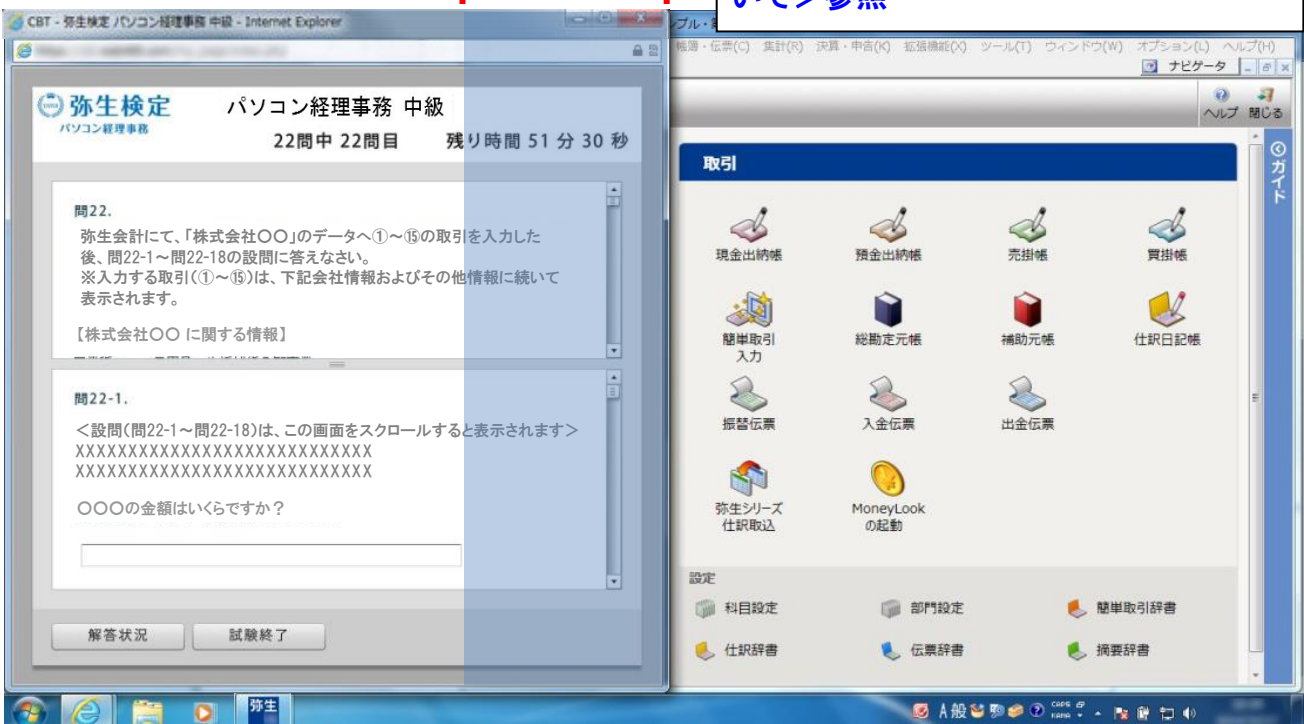
操作問題は、試験プログラムと弥生会計を切り替えながら操作する必要があります。
切替方法には指定はありませんが、試験中に素早く画面切り替えが行えるようにイメージしておくことをお勧めします。

【Step1】弥生会計を起動し、ウィンドウサイズを調整します。

アドバイス 「試験プログラム」と「弥生会計」は、左右に表示して切り替えるとスムーズです。



この部分を最小限にして操作することがコツです。⇒ P11<画面サイズ調整について>参照



【Step2】取引を弥生会計へ入力

問題文を読み、取引を弥生会計へ入力します。

取引入力時には、分割バーを最下位置まで移動し、問題表示部分を拡大して操作します。

重なる部分

取引の入力が終わったら…

【Step3】弥生会計の入力結果から回答を入力

弥生会計を操作して指示された金額を読み取り、回答欄へ入力します。

回答入力時には、分割バーを最上位置まで移動し、回答入力部分を拡大して操作します。

重なる部分

※画面サイズ調整については、試験当日お渡しする資料にも記載しています。

<画面サイズの調整について>

操作問題では、試験プログラムと弥生会計を切り替えて操作していただく必要があるため、ウィンドウを左右で切り替えることを想定して、あらかじめ弥生会計を右寄せで表示するように設定しております。試験プログラムと重なる部分につきましては、試験開始後にご自身でウィンドウ幅の縮小やウィンドウの移動などを行い、画面サイズを調整してください。試験プログラムのサイズ変更も可能です。

参考に画面サイズ変更目安をご案内します。

【弥生会計のサイズ調整】

画面操作のコツ①
弥生会計の幅の縮小
取引入力に使用する画面を表示して、入りに支障のない程度まで、弥生会計のウィンドウ幅を縮小する。

証ひょう画像

問22-1.
<設問(問22-1～問22-18)は、この画面をスクロールすると表示されます>

解答状況 試験終了

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要
借方補助科目	消費税額	貸方補助科目	消費税額	借方税区分
				貸方税区分
借方合計	0	貸方合計	0	貸借バランス
				0

【試験プログラムのサイズ調整】

画面操作のコツ②
位置の移動
問題文が隠れない程度に試験プログラムのウィンドウを左にずらす。(タイトルバーを左にドラッグして移動)

証ひょう画像

問22-1.
<設問(問22-1～問22-18)は、この画面をスクロールすると表示されます>

解答状況 試験終了

画面操作のコツ③
試験プログラムの幅の縮小
問題文や証憑が表示画面から切れてしまわないぎりぎりの位置まで、試験プログラムのウィンドウ幅を縮小する。

この部分を最小限にします

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要
借方補助科目	消費税額	貸方補助科目	消費税額	借方税区分
				貸方税区分
借方合計	0	貸方合計	0	貸借バランス
				0